

## 2017年

### I-JAS を利用した講演・学会発表

- 小口悠紀子「物語発話における既出の対象の省略と母語話者評価—習熟度が異なる中国語母語話者による日本語談話を対象に—」2017年日本語教育学会春季大会、早稲田大学（東京）、2017年5月
- 迫田久美子, 佐々木藍子, 須賀和香子, 細井陽子「学習者コーパスの構築に関するケーススタディー調査計画のプロセスから学ぶ—」2017年度日本語教育学会春季大会、早稲田大学（東京）、2017年5月
- Kumiko Sakoda「An investigation of language transfers in I-JAS data, focusing on expressions of request」The biennial conference of The Japanese Studies Association of Australia, University of Wollongong（オーストラリア）、2017年6月
- サリー・チャン「A Study of the misuse of the Japanese Noun modifier NO by second language learners of Japanese.」The biennial conference of the Japanese Studies Association of Australia, University of Wollongong（オーストラリア）、2017年6月
- Chihiro Kinoshita Thomson「Episodes of learning in I-JAS data, a sociocultural perspective」the Biennial Conference of Japanese Studies Association of Australia, University of Wollongong（オーストラリア）、2017年6月
- 石川慎一郎「日本語研究の新しい視点：コーパスが明らかにする言語事実」第九届汉日对比语言学研讨会、北京工科大学（中国）、2017年8月
- 迫田久美子「I-JASの開発と活用：L2日本語発話と作文の収集」第3回 アジア圏学習者コーパス国際シンポジウム、神戸大学 百年記念館（神戸）、2017年8月
- 奥野由紀子「日本語学習者に共通して見られる現象と母語による違い—I-JASのストーリー描写課題の分析より—」第30回日本語教育連絡会議、Oldenburg Volkshochschule（ドイツ）、2017年8月
- 砂川有里子「日本語学習者コーパス I-JAS を使った日本語教育研究」第30回日本語教育連絡会議、Oldenburg Volkshochschule（ドイツ）、2017年8月
- 田中真理, 阿部新, 影山陽子, 佐々木藍子, 坪根由香里「ヨーロッパ日本語学習者のライティング（エッセイ）分析：総合的評価とマルチプルトレイト評価結果を参照して【パネル発表】」The 15th EAJS International Conference/第21回ヨーロッパ日本語教育シンポジウム、リスボン新大学（ポルトガル）、2017年8月
- Koguchi Yukiko「Expressions to describe an unexpected event in intermediate learners' writing : A comparison with oral story telling tasks」EAJS2017 15th International Conference of the European Association for Japanese Studies、リスボン新大学（ポルトガル）、2017年9月
- 迫田久美子, 蘇鷹, 張佩霞「中国人日本語学習者の「念押し」表現に見る母語の影響—I-JASのロールプレイにおける依頼表現に基づいて—」2017年度言語資源活用ワークショップ、国立国語研究所（東京）、2017年9月

- 迫田久美子, 細井陽子「学習者コーパスに見る言語環境の違いとコミュニケーション」  
2017年度コーパス合同シンポジウム、国立国語研究所（東京）、2017年9月
- 迫田久美子「International corpus of Japanese as a second language：日本語学習者の言語研究と指導のために」英語コーパス学会第43回大会、：関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス、（兵庫）2017年9月
- 砂川有里子「日本語学習者コーパスを使った日本語教育研究」ネール大学講演会、ネール大学（インド）、2017年9月
- 砂川有里子「日本語学習者コーパスを使った日本語教育研究」オーストリア日本語教師会、ウィーン大学（オーストリア）2017年10月
- 迫田久美子, 佐々木藍子, 須賀和香子, 細井陽子「学習者コーパスの構築に関するケーススタディー調査実施とデータ整備のプロセスの課題ー」2017年度日本語教育学会秋季大会、朱鷺メッセ（新潟）、2017年11月
- 小西円「学習者のレベルごとに見た感動詞の使用の変化ーフィルターに注目してー」第三回 学習者コーパス・ワークショップ、国立国語研究所（東京）、2017年12月
- 佐々木 藍子・阿部 新「日本語学習者のエッセイに見られる評価群別の言語特徴ーI-JASにおけるヨーロッパ学習者のデータを対象にー」第三回 学習者コーパス・ワークショップ、国立国語研究所（東京）、2017年12月
- 細井陽子・迫田久美子「日本語習得における言語環境とレベルの違いの影響ー「依頼」のロールプレイの言語使用に基づいてー」第三回 学習者コーパス・ワークショップ、国立国語研究所（東京）、2017年12月
- 迫田久美子「日本語学習者の安全な誤用と危険な正用ー学習者コーパス I-JAS からわかる環境要因ー」OPI研究会 第95回定例研究会講演会、文京区区民センター（東京）、2017年12月
- 砂川有里子「コーパスを活用した日本語の研究」アダム・ミツケビッチ大学日本研究30周年記念国際学会、アダム・ミツケビッチ大学（ポーランド）、2017年12月